

平成28年度学校評価（学校関係者評価）

1 本年度の重点目標

- 強い意志、たくましい身体、高い品性を目指し、
- (1) 主体的に未来を切り拓くための土台となる確かな学力を育てる。
 - (2) 責任ある行動の涵養を図り、他者を思いやる豊かな心を育てる。
 - (3) 充実した体育・文化活動を奨励し、日々努力するたくましい心身を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価結果	学校関係者評価結果
学校経営	教育目標は適切である。目標達成に向け、共通理解や協同体制の確立に課題がある。	生徒、地域の実態を踏まえた適切な経営である。
改善方策	達成に向けた具体的な方策を明示し、分掌・委員会の業務を見直し、組織的な課題解決への取り組みを充実させる。	
教育課程	授業時数の確保は達成されている。生徒の学習意欲や理解を高めるために、指導方法や評価について課題がある。	今後は成績上位者への対応に力をいれて、成果を上げてほしい。
改善方策	新カリを見据えた教育課程の改善を図るとともに、アクティアブ・ラーニングを取り入れた授業や校内研修を充実させる。	
生徒指導	身だしなみをはじめ、粘り強い生徒指導により、生徒は落ち着いた学校生活を送っている。今後は保護者、地域との連携が課題である。	来客に対する生徒の挨拶がしっかりとできている。
改善方策	学校からの情報発信を積極的に行うとともに、保護者との懇談等を充実させ、地域行事にもさらに積極的に参加する。	
進路指導	講演会や発表会など進路に関する取組は年々充実してきている。講習体制や模試等への取組が不足しており、課題である。	今後の学力向上に向けたビジョンを明確であり、期待している。
改善方策	3年間を見通したキャリア教育を構築し、講習体制の確立や教務、教科と連携した学力向上を図っていく。	
特別活動	主体的な生徒会行事や部活動など生徒の取組は積極的である。今後は行事精選を含め、教育計画に調和した内容充実が課題である。	部活動の充実と生徒のさらなる活躍を願っている。
改善方策	早期の企画立案をすすめることで分掌・学年と連携を図り、共通理解の中で教育効果をあげられるよう改善を図る。	
健康安全	生徒の交通事故件数は激減している。今後はさらにPTAの協力を得ながら、地域も巻き込んだ活動が課題である。	交通事故件数の激減は日頃の安全教育の成果である。
改善方策	生徒指導通信やすずらんだよりなど、ホームページで積極的に発信し、活動内容の周知を図り、理解と協力を求めていく。	
研修	SWOT分析を用いた校内研修を実施し、校内課題等の共有を図った。次年度に向けて改善するための具体的な取組が課題である。	学力向上などに向け、さらに授業研究や研修を充実させて欲しい。
改善方策	プロジェクト委員会を立ちあげ、校内外の課題の検討を始めた。実現可能な具体的な取組を積極的に実行していく。	
公表方法	1 学校ホームページ 2 PTA便り 3 学校評議員会	